

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	市立須坂図書館 西館 (旧職業訓練校)	所在地	大字須坂776-1				
施設分類	社会教育系施設	所管課	文化スポーツ課				
財産区分	行政財産	延床面積 (m ²)	287.46				
居住誘導区域	該当	防災関連施設	非該当				
設置根拠		設置の目的・経緯	廃校となった「須坂高等職業訓練校」を2009年4月から配本室・倉庫・講習室として使用。2019年2月～講習室の貸出開始。	交通アクセス	須坂市民バス 生涯学習センター入口バス停から徒歩6分		
事業内容	書庫・講習室	貸付の有無	有				
管理運営の状況	直営	委託内容	トイレ清掃（シルバー人材センター）				
備考（その他特記事項）	2009年4月の利用当初は、須坂図書館と公民館で共同利用。2016年頃から図書館のみで使用している。						

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	2	地下	-	建築面積		延床面積	287.46		
構造 (主たる建物)	W造			建築年度 (主たる建物)	1980(増築 分1990)	築年数 (主たる建物)	45(35)			
取得価格	31,605,000			耐震化の状況		耐震診断未実施				
帳簿原価	31,403,700			バリアフリー対応		-				
減価償却累計額	31,403,698			省エネルギーの対応状況		-				
老朽化率	100%			施設の劣化状況						

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
	人件費				
	委託料				
	光熱水費	461	349	376	395
	維持補修費	12	110	0	41
	減価償却費	0	0	0	0
	指定管理料				
	その他				
費用合計		473	459	376	436

収入	利用料等収入				
	国庫補助金等収入				
	その他				
	収入合計	0	0	0	0

収支	-473	-459	-376	-436
利用者一人当たりコスト	0.95	0.80	1.23	0.95

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用	※照明LED化、講習室エアコン更新が必要			

4 施設利用状況

利用対象	講習室：使用許可を受けた団体、図書館行事の参加者、図書館利用者等		
開館時間	平日	午前9時30分～午後7時	
	休日	午前9時～午後5時	
休館日	月曜日、年末年始など ※図書館の開館日は原則使用可能		
駐車場の有無	有		

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	499	571	305	458	-33%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数					
年間利用日数	109	84	49	81	61%
年間利用可能日数	285	282	287	285	101%
稼働率	38%	30%	17%	28%	60%

公共施設評価結果シート

施設名	施設名称	市立須坂図書館 西館（旧職業訓練校）
-----	------	--------------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	合計	1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	C	0	平均と比較し同規模 (100%以上150%未満)
	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	E	-2	他施設と比較してかなり多い (200%以上)

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	合計	-2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った (-5%以上)
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	D	-2	100%
耐震性能	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	合計	-6	

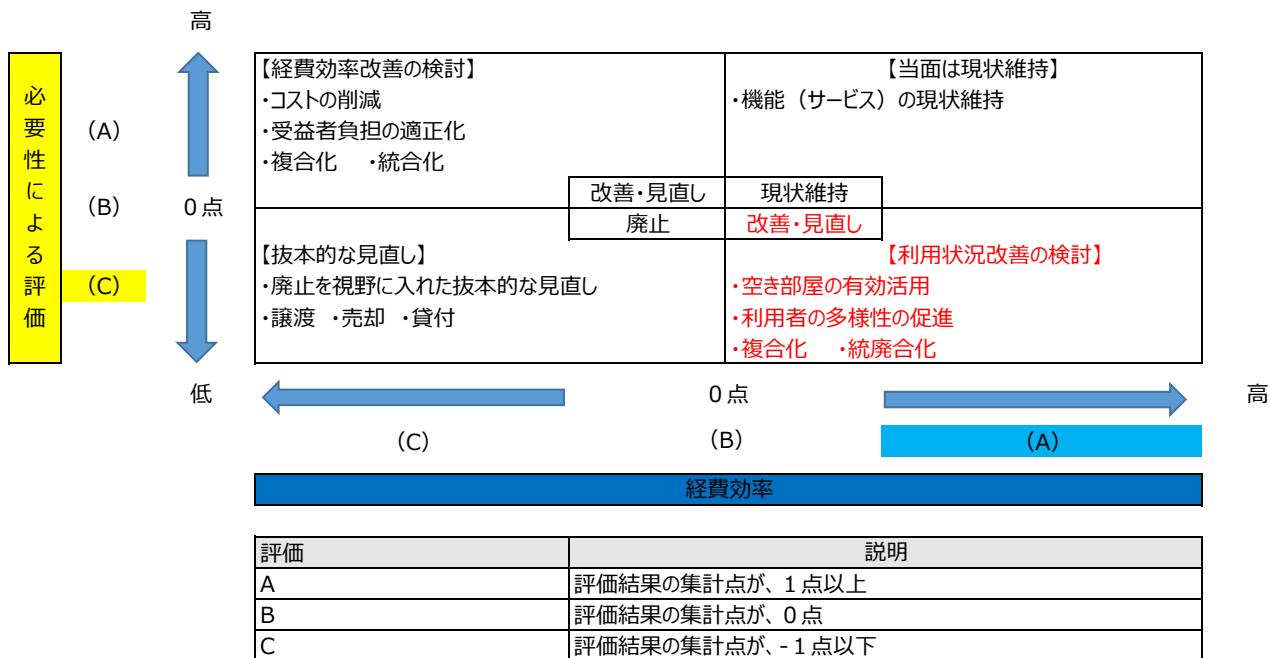
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	1
縦軸	必要性による評価	-2
	合計点数	-1

【利用状況改善の検討】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	-6
縦軸	必要性と経費効率からの評価	-1
	合計点数	-7

【抜本的な見直し】

